

校長先生の言葉は皆さんの心に届いていますか？

前回、ここらへんがかつては海の底だったということをお話しました。

地図でも確認しましたが、その地図は空想ででたらめに書いたものではありません。ある証拠に基づいて、だからここが海だったということが明確になっているのです。その証拠とは何でしょうか？

今週もたくさんのお友達からお答えを頂戴いたしました。ありがとうございます。そしてなんと正解者がいました。すばらしいです！

魚など海の生き物の化石があると、そこが海だったということがはっきりします。

化石というのは、生き物が死んだあと、土のなかで何年もかかって、骨が石のようにかたくなったものです。

この学校には化石がおいてありました。これです。



どこにあったと思いますか。なんと校長室に置いてありました。魚の骨の化石です。いったいいつから置いてあるのか、何という魚の化石かはわかりませんが、まわりの砂岩の様子などからも、ここで見つかった化石の可能性はとても高いと思

います。

これこそが昔はここが海だったという証拠のものです。

4月に校長先生がこの学校に来た時、校長室にこの化石が置いてあるのを見て、ぜひ大隅西の歴史をみなさんに知ってもらいたいと思いました。

また、ほかにもここが海だった化石のお話があります。瑞光公園の手前に、田島自動車商会という自動車の修理をしている会社があります。知っていますか？そこの田島さんは児童のみなさんに何十年も毎朝「おはようございます」とあいさつをしてくれています。連合町会の会長さんもおられますので、校長先生もときどきお話をするのですが、最近児童朝会で大隅西の歴史のお話をしていますという、昔の資料やプリントをたくさんくれました。ありがとうございます。

その田島会長がおっしゃられるには、「このあたり昔は、一面畑で、小麦や野菜が植えられていた。そして、地面を少し掘ると、()がよくでてきた。」ということでした。いったい何がでてきたと思いますか？少しまわりのひとと聞き合ってみてください。

そう、貝の化石がよくでてきたそうです。それが、河内湾のものなのか、それとも淀川のものなのかはわかりませんが、昔は貝の化石をよくみたそうです。ひょっとしたら、今でも地面を掘ると貝殻が出てくるかもしれませんね。

では、今週のお題です。以前の宿題で日本書紀に「安閑天皇は535年9月に「牛を難波大隅(島)に放つ」書いてありました。ここが島だったということはわかりましたが、なぜ島だったら牛が飼いやすいのでしょうか？少し周りの人とききあってみてください。

今週も最後まで静かに聞いていただきありがとうございました。